

R2 年 12 月 2 日(水)

テーマ：人に伝わる分かりやすい文章の書き方

講師：平松正昭先生 和歌山信愛大学・信愛女子短期大学 非常勤講師

場所：ビッグ U (田辺市)

参加者：14 名

- ねらい
- ・文章を人に伝わるようにわかりやすく書く技術を習得する。
 - ・論理的な思考に基づいた文章を書くことができる。



内容

1 人に伝わる分かりやすい文章にするには

実用文の「正しい書き方」を学ぶのが最も早く、上達できる道

スッと頭に入る文章の 3 つのルール

- ① 1 つの単語は 1 つの意味で使う
ワンワード、ワンミーニング
- ② 1 つの文章では 1 つの事柄を伝える
ワンセンテンス、ワンアイデア
- ③ 1 つの段落では 1 つの話題を扱う
ワンパラグラフ、ワントピックス

※「正しい書き方」を意識して、文章を書いてみよう、読んでみよう!!!

型にはめるとすらすら書ける

報告文では

コンセプト…この報告の趣旨は
要約…内容の要点をまとめて伝える
ダメ押し…報告全体をくり返して締めくくる

受講者は、例題について「悪い理由」「よい理由」を発表して練習しました。

(難しいという意見もありました)

R2 年 12 月 3 日(木)

テーマ：入退院支援における看護師の役割

講師：平松瑞子先生 特別医療法人ダイワ会 大和病院
看護部 よろず相談室 地域看護専門看護師

場所：看護研修センター

参加者：30 名

- ねらい
- ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療、介護、生活支援等が切れ目なく提供される体制を学ぶ。
 - ・病院、在宅に関わる全ての看護職者が、生活を視野に入れた支援のあり方学ぶ
 - ・患者の退院後を見据えた在宅医療の知識と院内外の高職種と連携した退院支援を行うためのスキルを学ぶ



フローレンス・ナイチンゲール「看護覚書」

「看護とは患者に新鮮な空気、太陽の光を与え、
暖かさと清潔を保ち、環境の静けさを……」



**退院支援・退院調整は患者・家族
の自己決定が前提!!**

主役は、患者と家族です

※退院後に「どこで」「誰と」「ど
のように」「何をして過ごしたいの
か」などの希望に対して、その意
向が少しでも叶うようにあと押し
しましょう。

私たちが行う入退院支援とは、
看護の本質そのもの

R2 年 12 月 4 日(金)

テーマ：感染予防の基礎を学ぼう ～患者さんとあなたを守るために～

講師：栢田美加子先生 橋本市民病院 感染管理認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：34 名

ねらい 感染予防に関する基礎知識を習得し、自己と他者を守るための感染予防の知識を得る。

講義中



受講者は、5 年未満のスタッフで中堅看護師につながる重要な位置を占めます。真剣に聴講されていました。

手袋の着脱を実際にしました



きれいに洗ったはずなのに!?

感染症をゼロにすることはできないが拡大の阻止は可能

新型コロナウイルスの感染拡大している今、再度、感染予防について学習しましょう。

受講者の声

- ・とてもわかりやすく、明日から生かせたらと思います。
- ・感染対策、今まで何となくしかできていなかった、今後どう生かしていくか分かった

R2 年 12 月 13 日(日)

テーマ：食べる力を支える摂食嚥下のテクニック

講師：速水久美先生 那智勝浦町立温泉病院
摂食・嚥下障害看護認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：30名

- ねらい
- ・嚥下機能低下予防のための看護ケアを学ぶ。
 - ・誤嚥性肺炎を予防するための看護の役割と援助の実際を理解する。



摂食嚥下のメカニズムをよく
知って誤嚥を防止しよう。

未練とご飯を残さない人生

嚥下機能低下を予防しよう

なぜ誤嚥するの？

- 1 寝たきり状態
- 2 加齢による咀嚼機能や嚥下反射の低下
- 3 歯の欠損、かみ合わせ不良口腔乾燥などによる咀嚼機能低下
- 4 神経系の機能低下（脳血管障害、認知症など）
- 5 高等・咽頭及び食道の主要、食道機能低下、胃切除後状態

どんな食べ物が飲み込みやすいの？

R2 年 12 月 18 日(金)

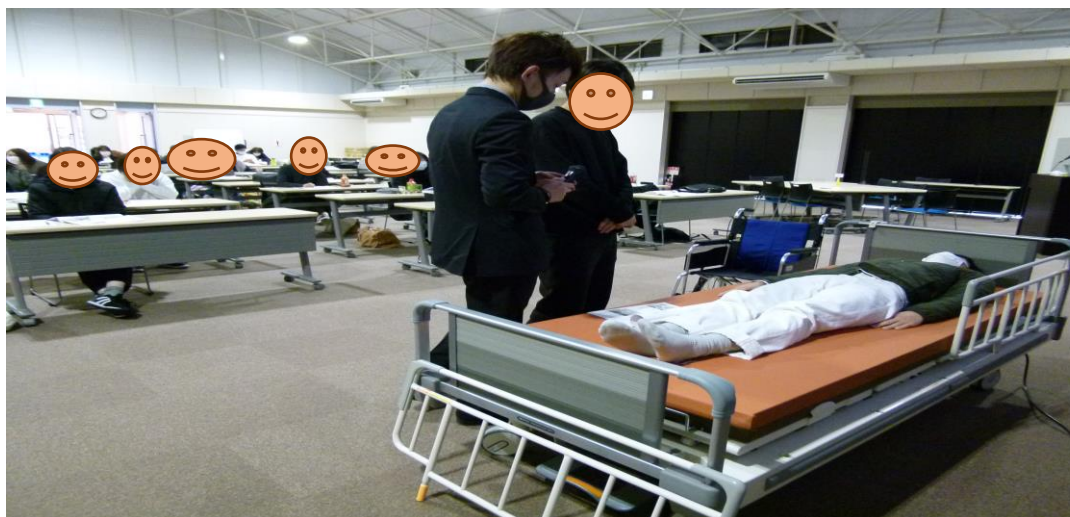
テーマ : ADL と QOL を高めるためのリハビリ看護のコツ

講師 : 木下貴稔先生 日本赤十字社和歌山医療センター
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

場所 : 看護研修センター

参加者 : 30 名

- ねらい
- ・安全・安楽な介助技術を身につける。
 - ・ベッドサイドでおこなうリハビリを取り入れた日常生活動作の援助を学ぶ。
 - ・リハビリに対する意欲を高め、その人らしくあるための介入方法を学ぶ。



右麻痺がある患者の「ベッドから
車いすへの移乗方法」

廃用症候群は ADL の低下だけではなく、QOL の低下に繋がる。廃用症候群の悪循環を断ち切るには早期離床が重要!!

※ リハビリテーションとは、身体機能回復のみを目標とするのではなく、その人らしい元の生活に戻れることを

